

平成17年度卒業論文

氏名	論文題目
浅野 令子	「犠牲」の教育人間学 ——他者との関係性についての再考
石田 将基	〈問い〉の考察 問われる者の責任
岩井 泰穂	稲荷信仰のフォークサイコロジ ——人々は神に何を祈るのか——
岡本 博史	商売における対人関係の倫理 ——資本主義経済を活性化させる商社活動——
小川 周平	日本におけるコミュニカティブ・アプローチの検討
川崎 裕美	乳幼児期における食行動と情動表出 ——食事場面での親子コミュニケーションの分析を通して——
黒木 寛人	方言と標準語教育について
小見 茂樹	宮坂哲文の生活指導概念の確立
近藤 夕円	明治期茶道における伝承のトポス ——伝えると伝わるの間で——
澤木 勇佑	金森俊朗の教育実践に関する一考察 ——「生活からの学び」を中心に——
塚本 朱里	女性の「物語」とライフストーリー ——「エリザベート」をめぐる語り——
中川 優子	鳥山敏子の教育実践とその背景
成田 康弘	暴力論 ——デリダとハーバーマスの対比を軸に——
西坂 萌	沢柳政太郎と成城小学校の教育
箸本 竜也	「文明開化」と民間信仰 ——あるいは狐狐狸の歴史的考察——
畠山 崇	NIE (Newspaper in Education) の展開 ——情報活用能力の育成を中心に——
脇中 美緒	授乳を通して見る現代の母親の子育てをめぐる感情や意識
木口 智徳	子どもの想像力と大人の想像力が出会う場所 ——まど・みちおの詩から
久保田 昌子	生きられる空間と個の宗教性 ——田窪恭治『林檎の礼拝堂』を手がかりに——
小林 牧子	自己イメージにおける「根づき」について
田本 有紀	乳幼児の非言語的要求表現の発達と養育者の関わり
山中 亜矢子	〈食べること〉と〈生きること〉 ——現象学的人間学からの一考察——
大森 愛理子	「書」の言語芸術的考察
船尾 真伊年	大村はまの学習記録についての考察 ——単元学習における位置づけに注目して——
緩目 一步	現代大学生の「生き方」考 ——死生観との関わりから——
山田 浩二	世界をつむぐ「こころ」 ——認識論転換の試み
宇津木 洋志	親子関係から見たストレス耐性と自己愛
遠藤 卓	学習による既知感変容過程の検討
小原 美樹	友人との二人関係及び三人関係に関する研究 ——イメージ画を手がかりとして——

平成17年度卒業論文

- 河野 一紀 「ことば」と「感じ」の一体感
——こころに残ることばについての分析を通して——
- 小宮 あすか 他者の後悔表明が自己の後悔に及ぼす影響
- 芝池 有紀 青年期における家族像に関する研究 ——自我同一性の観点から——
- 堤 久美子 セルフ・モニタリングに対する価値観
- 友尻 奈緒美 劣等感とその補償に関する研究 ——質問紙とTATを用いて——
- 中埜 華奈子 風景構成法における物語という試み
- 仁井 潤子 ナショナル・アイデンティティに関する考察
- 長谷川 千紘 物語作りのもつ意味に関する研究
——交互ぐるぐる描き物語統合法の製作過程における体験に注目して——
- 林 明日香 筆記体験の主観的評価に対する考察 ——自己物語の視点から——
- 本多 沙希 過去のきょうだい経験が青年期の対人行動に及ぼす影響
- 溝川 藍 幼児期における他者の見かけの悲しみ表出の理解
- 横尾 知子 聴覚が視覚に及ぼす影響 ——音誘因型フラッシュ錯視を用いて——
- 佐々木 麻子 「帰国子女の心性」について
——文化差体験が人格形成に及ぼす影響に関する一考察——
- 谷垣 紀子 「笑われる」体験のありようから見た自己対峙ユーモアの分析
——自己にまつわるおかしみの諸相
- 内野 亮平 情動表情における闕下感情プライミング
- 越川 麗子 女性における男性同性愛著作品への傾倒
——女性の内面に存在する男性コンプレックスの視点から——
- 小西 佳奈 学習時の教示が単純接触効果に及ぼす影響について
- 高橋 尚子 広告認知に及ぼす反復呈示と感情の影響
- 西田 亮子 青年期の愛着スタイルと親イメージ、恋人イメージとの関連性について
- 松本 健三 作り手自身による写真撮影を手掛かりとした箱庭制作体験の研究
- 宮本 奈穂美 青年期の隠れた思いやり感情と援助行動との関係について
——共感性・自尊感情・内向性の影響——
- 荒見 友貴 高等教育段階における域内教育交流 ——アジア太平洋大学交流機構を中心に——
- 今戸 國治 現代の学歴エリートにおける内部分裂
- 岡部 好身 アメリカ・ホームスクール運動の展開に関する一考察
——公教育と私教育との均衡点の模索——
- 桐村 豪文 ニューヨーク州における営利大学の設置とその様相
——州法に焦点を当てた歴史研究——
- 小泉 淳哉 現代日本社会の労働観と生涯教育 ——「ニート」問題を手がかりに——
- 杉田 純子 地域社会と子どもの参画可能性 ～ラウンドアイズ京都西陣の活動を通して
- 竹本 由紀 米国におけるバーチャル・ユニバーシティの組織及び経営に関する事例研究

辻 真衣子	現代社会のキャリア形成の現状と課題 ～成人期前期における個人の就労意識という観点から～
中 岡 潤 美	ゴフマン理論から見る親密化の技法
三 宅 浩 子	米国カリフォルニア州における教員資格制度の多様化と質的保証
山 崎 貴 子	高校生像の変遷に関する社会学的考察 ——進路選択場面における「野心」と「目標」を中心に——
山 田 茉 弥	異文化を受け入れる側の体験と諸問題 ——留学団体、ホストファミリーを通して——
山 本 祐 己	サラリーマンにとっての武士道 ～戦後の大衆歴史小説の分析～
馬 淵 裕 成	日本海軍におけるメディア・イベント ～広報活動としての観艦式～
大 田 誠 二	12歳の進路選択 ～公立中高一貫校が与えた影響に関する日英比較分析～
重 高 匡 志	少年犯罪をめぐる語りの転換 ——関係性の問題から内面性の病いへ——
西 田 崇 浩	義務教育費国庫負担制度の変遷
松 本 雄 大	国立大学法人に対する組織評価のフレームワークに関する一考察

(合計68名)